

船木小・椎柴小学校統合準備委員会 第1回 会議概要

- 1 日 時 令和7年6月24日（月） 午後6時30分から午後7時15分まで
- 2 場 所 銚子市立椎柴小学校 会議室
- 3 出席者 委 員 校長、保護者代表、地域住民代表（出欠別紙名簿のとおり）
事務局 本田学校教育課長、稲垣教育総務室長、渡邊指導主事、
林副主査

4 概 要

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

新たに委員となられた方5名に委嘱状を交付（机上配付）

(3) 学校教育課長あいさつ

(4) 会長・副会長の選出について

会長 船木小学校長 川口委員

副会長 椎柴小学校PTA代表者 栗原委員

(5) 議事

【会長】

では、「5 議事」に移ります。

「(1) 統合小学校の校名について」事務局に説明を求めます。

【事務局】

それでは、私からは、まず、今までの統合について説明します。平成18年度に興野小学校と若宮小学校が統合して双葉小学校に、平成25年度に第四中学校と第八中学校が統合して銚子中学校に、令和3年度に第五中学校、第六中学校、第七中学校が統合して銚子西中学校がそれぞれ開校しております。そして、令和9年度に船木小・椎柴小が統合して開校いたします。そのため、この船木小・椎柴小学校統合準備委員会では、統合校の校名について協議をしていただくこととなります。校名が決定しだい、校章、校歌についても検討していただくこととなります。

次は、「校名・校章・校歌の決定」についての説明をさせていただきます。別紙「銚子西中学校の校名・校章・校歌の決定状況について」をご覧ください。銚子西中学校での校名、校章、校歌、決定までの流れが記載されています。また、銚子西中の統合の際には、校名、校章、校歌等が決定した後に、部会の設置をいたしまし

た。部会とは、統合に係る実際的なこと、例えば、PTA・通学部会を設置し、PTA活動や通学方法などの様々なことを検討していきました。銚子西中の例を挙げさせていただきましたが、銚子中の統合の際も、また、双葉小学校の際も、同様の流れで校名等を決定しております。

今年度の統合準備委員会では、統合校の校名候補の決定、校章・校歌の選定方法の決定を目指しております。今回は、第1回の統合準備委員会ですので、委員の皆様から校名の決め方について様々な意見や感想、質問などをいただければと考えております。

それでは、具体的な説明に移ります。資料1をご覧ください。これまでの統合に係る校名決定についての方法をまとめておりますので、ご参考としてください。資料2をご覧ください。今回決めていただく内容の事務局提案となります。まず、表面の「1 募集対象」です。今回は小学校の統合ですので、地域の声を反映したいという事から、対象学区の児童及び学区内町内全世帯に応募用紙を配付しようと考えています。下の方にあります「◆ 応募先」ですが、児童は学校へ提出、町内の皆様は市役所に持参、郵送、FAX、メール、それに加えまして船木小・椎柴小の郵便受けへの投函、を考えております。また、裏面が応募用紙となっておりますので、そちらもご確認をお願いします。説明は以上となります。ご協議のほど、よろしく願いいたします。

【会長】

事務局提案の「1 募集対象」から協議したいと思います。事務局の説明につきましてご質問がありましたら、ご発言いただきたいと思います。

【委員】

スケジュールはどのくらいを予定していますか。

【事務局】

児童に関しましては、7月頭から夏休み前までに学校をとおして配布して、学校のほうで回収を考えております。地域の皆さんに関しましては、町内嘱託員宛で全戸配布をするのが1番効率的なのですが、それができるのが8月1日。1世帯1枚という形で全戸配布していただいて、8月いっぱい回収を考えております。

【会長】

児童は7月入ってから夏休み前までに学校で回収するということですか。

【事務局】

そうですね。児童に関しては、各学校のほうに配布と回収をお願いします。

【会長】

これは全員からではないですよ。アイデアがあればという。

【事務局】

提出は任意なので、全員から強制的に集めることは考えておりません。

【会長】

学校から夏休み前までに教育委員会に届けるということですよ。

【事務局】

教育委員会に届けるのは、8月に入ってからでも構いません。児童たちが学校に提出できるのが夏休み前までという区切りになってしまうと思います。その後に、教育委員会にいただければ大丈夫だと思います。

【会長】

その後でも受付けるんですか。

【事務局】

期限はその日までで、その日以降は提出があっても選外とさせていただきます。

【会長】

町内会においても同じですか。

【事務局】

そうです。8月の1か月いっぱいが必要な期間かと思っております。

【会長】

9月以降に良いアイデアが浮かんでも受け付けませんよ。

【事務局】

はい、そうです。

【会長】

「1 募集対象」については、事務局提案のとおりという事でよろしいでしょうか。

次に、事務局提案の「◆ 応募先」について協議したいと思います。事務局の説明につきましてご質問がありましたら、ご発言いただきたいと思います。

(質疑無し)

【会長】

「◆ 応募先」について、事務局提案のとおりという事でよろしいでしょうか。

それでは、統合小学校の校名の募集方法について承認いただける方は挙手を願います。

賛成多数となりましたので、統合小学校の校名の募集方法について承認します。

次に、議事「(2) 今後のスケジュールについて」に移ります。事務局に説明を求めます。

【事務局】

統合準備委員会の今後のスケジュールについてですが、資料3 統合準備委員会スケジュールについてをご覧ください。令和9年度4月の開校に向けて、統合準備委員会では、主に以下の4点について話し合っています。①校名について②校章について③校歌について④その他、通学方法やPTAなどについて、です。また、④のその他ですが、PTA・通学部会や学校運営部会などの設置について、今後、統合準備委員会で承認をいただく予定です。

令和7年度の統合準備委員会の開催日程については、本日、第1回が実施され、第2回は、校名の応募の状況がまとまりましたら、8月下旬～9月に実施します。第3回は、10月中旬～11月、第4回を1月下旬～2月に実施する予定です。

2つめです。統合準備委員会の内容の周知ですが、議題と結果について市教委のホームページへの掲載や配布物を作成して、学校、地域の方々にお知らせしていく予定です。以上です。

【会長】

事務局の説明につきましてご質問がありましたら、ご発言いただきたいと思います。

【委員】

先日教育委員会から船木小・椎柴小の児童数の推移という一覧をいただきました。これを見たときに少し危ういなと思ったのが、実際、6年度、7年度船木小学校1年生0人ですが、7年度9人となっています。8年度4人、9年度5人となっていますが、実際、8年度、9年度も0人になるのではないかと思います。そうなった時に、合併した人数が著しく変わってくるのではないかと。1年生がずっと0人が続いて、令和9年度に合併しても、令和9年度時点では、ほぼ船木小の児童がいなくて、ほとんどの児童が椎柴小の児童だけみたいな状況になるのではないかと予想されます。さらに、椎柴小学校の1年生が確実に11、13人入るとは限りませんので、だいたい7人ぐらい入るのかなと気がします。7人ずつ入っていきますと、たった6年間で42人しかいないわけで、船木小は0人と考えるわけですから、合併して3年か4年しないうちに、それだけの人数になってしまうことが想定されて、それで新学校つくっても10年しないうちに廃校に向かってしまうのではないかと想像されるわけです。開校した時点でも、現在の椎柴小学校と同じくらいの人数かもしれないと。椎柴小学校は今、40人しかなく、複式学級が本当は2つできているんです。それを増置で解消して、複式学級を1つにしていますが、教師がいなくて大変苦しいです。統合した学校なのに、そういう見通しがたっていて、学校を運営する私からすると、統合して大きくなると思いきや、全然大きくならず今現在のような人数で、先生方にも苦しい思いをさせてしまうと。児童は和気あいあいとやっつけて環境としては良いですが、統合するメリットはなんなのか。年々児

児童数が減っていき、今現在の小規模校となってしまうというのを考えたときに、その見通しを地域の方は知っているのか。そのあたりをどう考えて、そしてなおかつ引っ越しという大きな行事がありまして、わざわざほとんど椎柴小学校の児童しかいないにも関わらず椎柴小学校を去って新しいところに行かなくてはならないメリット、費用対効果がどのようなものかなと考えております。市の財政を考えたときにどうなのかなと思います。

【委員】

委員からあった費用対効果など、教育委員会のほうでお答えできるようなことがあればお聞きしたいなと思います。

先ほどお話があったことを、委員の立場からお話させていただきますと、去年今年、入学者0人です。資料を見ると学区に9人いたにも関わらず、ほとんどが海上小学校へ入学している状況です。それを鑑みると来年も同じような状況になると思います。このまま進んでいきますと、令和9年に統合したとしても、2年で船木小学校の児童たちはいなくなります。つまり3年後には、六中に引っ越したとしても椎柴小学校単一の学校になります。椎柴小学校の校舎から六中の校舎へ椎柴小学校の児童たちが移動したと同じことですので、それに対する費用対効果は非常に薄いのではないかと。統合の意味はどういう意味があるのかというのがあります。こういったメリットでこう進んでいるということを再確認というかお聞きしたいと思いません。

【事務局】

こちらの見解としては、統合というのは全国いろんなところで今盛んに進められている現状があります。当然、銚子市内も学校の規模もどんどん減って行って統合を考えざるをえない。ただ根本には、小学校は特に地域に残していくべきコミュニティの核という捉え方を教育委員会ではしているので、杓子定規に人数が少なくなったから統合という安易な問題ではないと捉えています。費用対効果とは確かにそうですが、大人の都合だけで子どもたちの地域の学び舎、もっと言うと、地域の方からも地域のコミュニティの核となる学校というのは、そこからなくなるのは、出来るだけ避けたいという思いが根本にはあります。ですので、地域の方にもいろいろアンケートをとるなどして、1番の要望が船木小と椎柴小を統合して、旧六中の場所へという思いが非常に多かった。地域の願いや思いを確認できたところで、総合教育会議でもそれを組んで、こういう結論に至ったというところが1点。

船木小学校の学区には、もともと入学すべき子供たちがいて、それが過去2年間海上小学校に流れていってしまっている大きな要因の1つとしては、学童があるかないかというのが大きいと伺っています。ただ、学童が海上小学校にはあるので、船木小学区の子供たちは、船木小に入学ではなくて、海上小へというような流れも

聞いていますので、今回、船木小と椎柴小を統合して、旧六中の場所に統合校ができた暁には、学童を用意するということもセットで考えています。ですので、一概に過去2年間、入学者がいなかったからというので、今後も入学者がいらないかという、それは先のことなので誰にも予測はできないですが、学童をちゃんと用意して、こちらにもというようになれば、地域の方々は地域の学校にという想いもあるので、やる価値はあるのかなとこちらとしてはあります。

【委員】

私は町内会長を経験して、その流れで六中地区文化祭が3年前くらいから始まって、その中で、船木小がなくなってしまうという話になり、2年前から入学者が0人で、1番の要因は学童がないというので、個別に近所に話を聞いてみても、学童がある、なしというのが1番のポイントみたいです。この統合の話は途中で無くなるともまだ思っています、船木小学校の1年生が0人で、欠けているというのは大きいですね。1番最後の拠り所は令和9年4月に入学する子たちは、学童があることを頼りに両方とも通うだろうという前提で私も参加しています。いまでも年中さん、年少さんいるわけですから。親はもうどうするって考えていますよ。次からは学童があるということになれば気持ちも変わるのではないかなと。親御さんにしてみても、学童っていうのは切実な問題であって、ないからやむを得ずほかの学校に行っているっていうのはあると思うんですよね。高田町内会長を経験した中で、高田町の人たちに聞いてみたときに、地元小学校がなくなるのは寂しい話で、夏祭りや他の行事でも小学生がいてほしい気持ちがあります。期待しております。

【会長】

ありがとうございました。スケジュールに戻りますが、他に質問ありますか。

【委員】

校名は仕方ないにしても、校歌とかについて開校のときにないといけないという考えなのでしょうか。

【事務局】

それも含めて、今日でなくてもこの場で検討していただければと思います。校名は議会にかけなければならぬので、絶対なのですが、校歌や校章とかは、他の地域でも聞いた話だと、とりあえず校名だけ決めまして、始まりました。そこから追々、子供たちや先生方、地域の方、保護者の方とかでゆっくり決めていくというような決め方をしている。

【委員】

自分たちの学校にするためにも、思いかなにかを校歌に入れてもらうほうがいいのではないかな。

【事務局】

それはそれとして1つの選択としてあるということで、そういう方向でいこうではないかをこの会議で方向性が決まっていけばと思います。スケジュールの第3回目、校歌・校章についてというのは、校歌・校章を令和9年4月までに決めるのかどうかも含めての検討として捉えていただければと思います。

【会長】

それでは、今後のスケジュールについて承認いただける方は挙手を願います。

賛成多数となりましたので、今後のスケジュールを承認します。

以上をもちまして第1回会議の議事を終了いたします。委員の皆様方には会議にご協力いただき、ありがとうございました。

(6) 連絡事項

【進行】

川口会長、栗原副会長ありがとうございました。

続きまして、「6 連絡事項」です。事務局から、お願いします。

【事務局】

次回の統合準備委員会は、令和7年8月下旬から9月頃開催する予定です。内容につきましては、公募した校名の中から最終候補を何点か選考していただくことと、PTA・学用品部会の設置についての承認となります。校名の公募の方法により日程が前後しますが、開催日が正式に決まりましたら、通知文書を送付させていただきます。連絡事項は、以上です。

【進行】

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。

遅くまでありがとうございました。

(以 上)